

○ 本校の概要

- ★ 開校65周年目、児童数829名、25学級、地域からは落ち着いた学校として一定の評価を得ている。
- ★ 「健康・安全・人権」を学校教育の基盤とし、「挨拶・運動・笑顔・思いやり」を大切に児童の育成を図る。
- ★ 本年度の校内研究は、昨年度に引き続き、「楽しい学校の創造～生活・総合の楽しい授業の創造～」をテーマとし、生活科・総合的な学習の時間で主体的な学びの実践を通して学びに向かう力の育成を図っていく。
- ★ 多様な人間関係を築く機会と場を保障するために、毎年、全学年学級編成替えを実施し、フランクリン・コビー・ジャパン社との連携により「リーダー・イン・ミー」の考えを基に新しい自分の可能性を追求し、自尊感情を高めるような取組をする。
- ★ 縦割り班活動による異学年交流を設定し、特に高学年の自己の存在意義や役割を意識化できる機会と場を増やすことに取り組んでいる。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄	
								評価人数	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。		4:全児童対象学校生活に関するアンケート「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「よく分かる」との回答55%以上			A	
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。		3:全児童対象学校生活に関するアンケート「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「よく分かる」との回答45%以上55%未満			B	
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。		2:全児童対象学校生活に関するアンケート「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「よく分かる」との回答35%以上45%未満			C	
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々のコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。		1:全児童対象学校生活に関するアンケート「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「よく分かる」との回答35%未満			D	
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。						
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。		4:保護者向け学校評価アンケート「学校は、子供一人一人を大切にしている」項目において、「はい」の回答48%以上			A	
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。		3:保護者向け学校評価アンケート「学校は、子供一人一人を大切にしている」項目において、「はい」の回答38%以上48%未満			B	
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。		2:保護者向け学校評価アンケート「学校は、子供一人一人を大切にしている」項目において、「はい」の回答28%以上38%未満			C	
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。		1:保護者向け学校評価アンケート「学校は、子供一人一人を大切にしている」項目において、「はい」の回答28%未満			D	
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要な事案に対しておおむね会議を実施した。 2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をできなかった。						
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。		4:保護者向け学校評価アンケート「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」の回答62%以上			A	
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。		3:保護者向け学校評価アンケート「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」の回答52%以上62%未満			B	
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。		2:保護者向け学校評価アンケート「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」の回答42%以上52%未満			C	
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。		1:保護者向け学校評価アンケート「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」の回答42%未満			D	
		体育の授業におけるあめあての指示・学習の流れの提示・学習カードや振り返り活動などの取組を通して、目標をもって体を動かすことの楽しさを子供が実感できるようにする。	4:全教員(全学級)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。						
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。		4:保護者向け学校評価アンケート「子供は分かりやすい授業・楽しい授業を受けている」項目において、「はい」の回答59%以上			A	
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。		3:保護者向け学校評価アンケート「子供は分かりやすい授業・楽しい授業を受けている」項目において、「はい」の回答49%以上59%未満			B	
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。		2:保護者向け学校評価アンケート「子供は分かりやすい授業・楽しい授業を受けている」項目において、「はい」の回答39%以上49%未満			C	
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:設置教室を使用する全正規教員が週1回以上活用した。 3:80%以上の正規教員が週1回以上活用した。 2:60%以上の正規教員が週1回以上活用した。 1:60%未満であった。		1:保護者向け学校評価アンケート「子供は分かりやすい授業・楽しい授業を受けている」項目において、「はい」の回答39%未満			D	
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:月1回以上行った。 3:学期に2～3回行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。						
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくり直します。	地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4:週3回以上更新した。 3:月に2～3回更新した。 2:学期2～3回以上更新した。 1:更新しなかった。		4:保護者向け学校評価アンケート「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」の回答56%以上			A	
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。		3:保護者向け学校評価アンケート「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」の回答46%以上56%未満			B	
		PTA並びにおやじの会等との連携を深め、地域の教育力を生かした多様な体験活動を実施する。	4:学期に2～3回以上行った。 3:年間2回以上行った。 2:年間1回以上行った。 1:全く行わなかった。		2:保護者向け学校評価アンケート「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」の回答36%以上46%未満			C	
					1:保護者向け学校評価アンケート「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」の回答36%未満			D	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
 ○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。